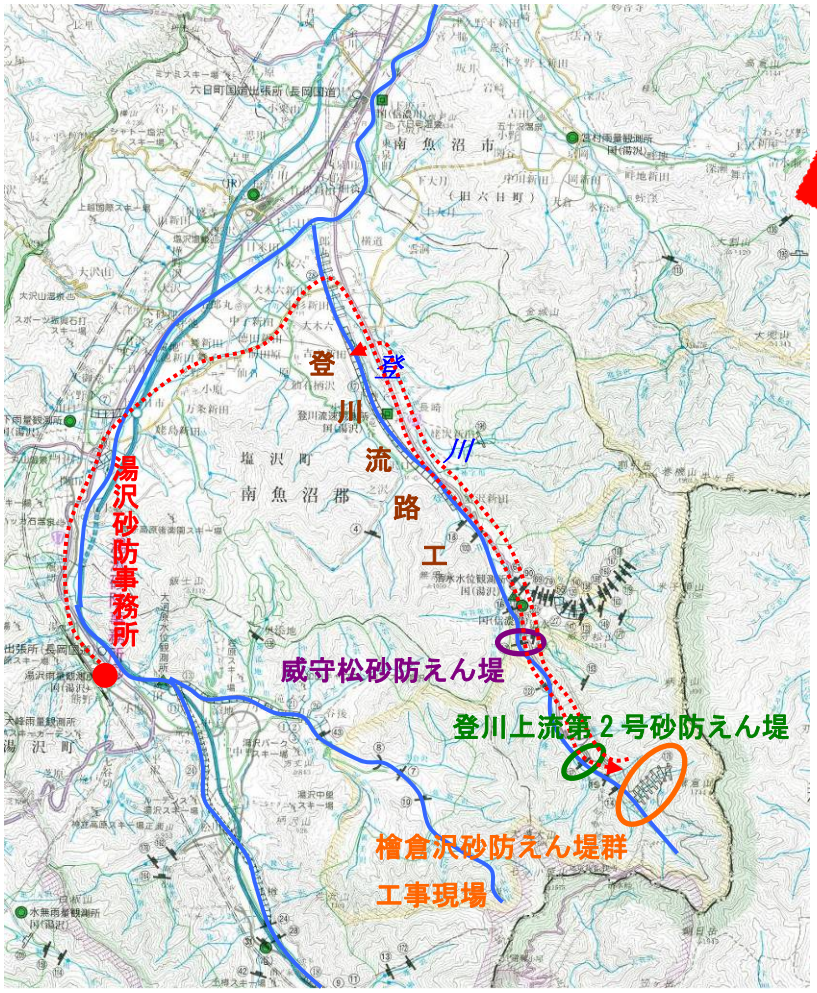
平成 19 年度

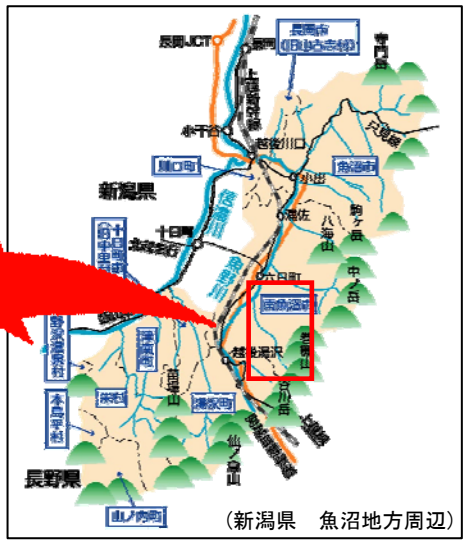
湯沢砂防女性モニターレポート　第１回見学会

国土交通省湯沢砂防事務所　平成１９年９月発行

８月 27 日月曜日、新規登録者３名を含む９名のモニターの方々に参加いただき、今年度初回となる見学会を行いました。今回は「砂防事業とは？」をテーマに、上流が荒廃している登川の砂防工事現場と砂防施設を見ていただきました。

＜位置図＞





（新潟県　魚沼地方周辺）

＊＊プログラム＊＊＊＊＊＊＊

9:10　湯沢砂防事務所出発

10:30　登川檜倉工事現場到着

・工事用道路、砂防えん堤の説明

11:20　長大橋　登川流路工

・流路工の説明

12:00　終了

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

バスの中では、小竹調査課長より砂防事業についての説明がありました。

登川について

登川の水源は谷川連峰に属する朝日岳で、周辺には大規模な崩壊地を抱えています。そのため、大雨や雪解け出水によって、上流から多量の土砂が流れ出し、登川は古来から「あばれ川」と呼ばれてきました。

上流部では土砂生産源対策として砂防えん堤群を配置し、下流扇状地では氾濫防止対策として流路工（床固工群）の整備を進めてきました。

不安定な土砂が川底に堆積する登川上流部

檜倉沢砂防えん堤工事現場

登川上流に位置する檜倉沢では、砂防えん堤の工事に先立ち道路工事が行われ、現在は砂防えん堤の工事を行っています。平成１５年度・１７年度にも女性モニターが見学に訪れました。

今回の見学では工事用道路を下り、土砂が堆積する川底へ向かいました。

平成 15 年度（道路工事の見学）

平成 17 年度（砂防えん堤予定地を見学）

工事中の砂防えん堤を見学。計画では数基の砂防えん堤を整備する予定です。

見慣れない土木の図面での説明に戸惑いながらも、真剣に話を聞いている女性モニターの皆さん。

説明を聞きながらメモを取る女性モニターさんもいらっしゃいました。

＊女性モニターさんからの現場での質問＊

Ｑ：周りが土砂、砂利だらけだけど、これはどこまであるの？

Ａ：登川の上流はずっとこの状態が続いています。今ここにある土砂は工事で発生した土砂ではなく、元々こういう土砂が多いところでした。これを砂防の用語では「不安定土砂」といいます。大雨で洪水が来た時に、これらがみんな下流へ流れてしまうのです。非常に不安定で、下流にとって危険な土砂なのです。

モニターさんから多くの質問や感想をいただきました。

この土石が一体どこまで続くのか、不思議がるモニターのみなさん

＊女性モニターアンケートに書かれた感想＊

・旧塩沢町の清水地区までは機会があれば行っていましたが、こんな山奥まで入ってえん堤の工事をしているとは驚きでした。（モニター歴２年目）

・道路を整備してから本格的な工事に入ると知り、驚きの一言。安全、安心して暮らせる為工事をしていることをもっと多くの人に知ってもらう方法は無いのかと考えさせられました。（モニター新規登録者）

・山奥で工事をしているのも、町や村で普通に生活するために欠かせない、もしものための砂防なのですね。（モニター歴３年目）

・現地で不安定土砂を目の当たりにして、これが災害を引き起こす元凶なのかと思いました。共存の難しさを感じました。（モニター歴３年目）

・完成まで気の遠くなる程時間がかかるのだと思いました。あの岩、石などが山の沢にずっと先まであると聞いて、これでは大雨等自然災害が起きたら大変な事になると感じました。（モニター歴２年目）

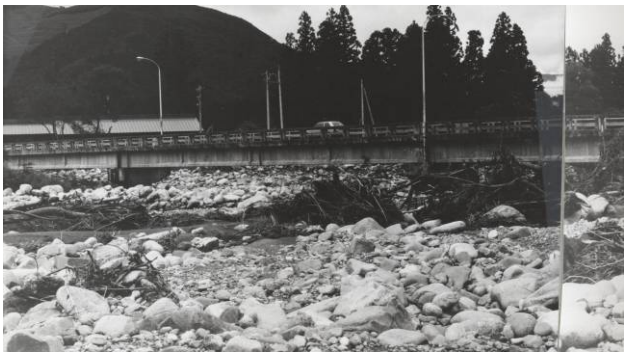
・えん堤を作る事で、河床がどう変化していくのか、記録してもらっていつか見てみたいです。（モニター歴５年目）

登川流路工

長さが５．８ｋｍにもなる登川流路工。およそ２０年の歳月をかけ、平成１０年に完成しました。流路工の整備と同時に、河川公園も整備されました。

長大橋付近の登川流路工（登川河川公園）では、夏休みということもあり、川遊びを楽しんでいる姿も見られました。

魚道の設けられた床固工群と川の周辺の利用状況を見学。（長大橋付近）



昭和 56 年の災害　滝谷橋での土砂堆積状況

＊女性モニターアンケートからの感想＊

- 暴れ川と言われる登川全体の砂防施設について、もう出来ている箇所も含めて、もっと見学したくなりました。（モニター歴２年目）
- 登川上流２号砂防えん堤や河床の工事をした事で、下流に起きた変化があれば知りたいと思いました。（モニター歴５年目）
- 昔と大きくちがっているのは、水量が少なく、川がせまくなった事です。大人も子供も安心して川に接することができる様な施設を希望します。（モニター歴２年目）
- 上流にあった大量の石を、何とか自然と一体化したものに活用できたらいいのにと思います。（モニター新規登録者）
- 時代や現場の状況に様々な工夫がなされ、最良の技術を目指して工事されている事が分かりました。（モニター歴３年目）
- 砂防や土石流などの知識を得ることは楽しいのですが、逆に自然の恐さも改めて知るような気がしました。（モニター新規登録者）
- 30 年位前、登川に子供を連れて水遊びをさせた時とは違い、あまりにきれいに整備されて、また、公園まで出来ていたので驚きました。（モニター新規登録者）

湯沢砂防より

今回は平成１９年度女性モニターさんの初顔合わせとなり、新しいメンバーを迎えて、「砂防」についてお話するのに適した「登川」を見学地とさせていただきました。

登川下流部では扇状地が発達し、魚沼コシヒカリなどの水田が広がり、流路工周辺は工業団地などに利用されています。上流部は一般の方が入ることは希ですが、土石流のもとになる不安定な土砂が川底に厚く堆積し、河原に立つと土砂の量に圧倒されます。大雨で増水すると、その土砂が動き始めるのです。なぜ砂防事業が必要なのか、みなさんに肌で感じていただくことができたのではないかと思います。

今年度も女性モニターのみなさんから素朴な疑問や率直な感想をいただいて、事業に反映させていきたいと考えております。よろしくお願いいたします。

お問い合わせ先：国土交通省 湯沢砂防事務所 調査課　　TEL：025-784-2073　　FAX：025-784-2441
〒949-6102 南魚沼郡湯沢町大字神立 23　ホームページ：http://www.hrr.mlit.go.jp/yuzawa/